

レジメンcode:	C85-44	備考
適応がん種:	悪性リンパ腫	
レジメン名:	Pola-R-CHP	
間隔:	3週間	

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与方法	投与日
	リツキシマブ(リツキサン)	375	mg/m ²	点滴[*1]	d1[*3]
Pola	ポライビー	1.8	mg/kg	点滴[*2]	d1[*4]
CPA	エンドキサン	750	mg/m ²	点滴(1時間)	d1
ADM	ドキシソルビシン(アドリアシン)	50	mg/m ²	点滴(全開)	d1
PSL	プレドニゾン	100	mg/body	内服	d1~5

★ADM 総投与量 500mg/m²以下

[*3]Pola-R-CHP6コース施行後、リツキシマブ単剤投与を2コース追加する。

[*4]1コース目はinfusion reaction発現を考慮し、リツキシマブとポライビーの同日投与は避け、day1R-CHP、day2ポライビー投与とし、2コース目から同日投与を行なう。

連日[*5]

バクタ		1錠/day
アシクロビル	200mg	1錠/day
	内服	朝食後

[*5]ニューモシスチス肺炎、带状疱疹の発症予防のため上記薬剤の内服が推奨されている。

【1コース目】

day1、2

1) カロナール	200mg	2錠
d-クロルフェニラミン		1錠
	内服	

*day1 リツキシマブ投与30分前、day2 ポライビー投与30分前に内服

day1~5

1) プレドニゾン		100 mg/body
	内服	朝昼食後

day1【ケモセーフ使用】

1) 生食	50ml	1本	内服前投薬、心電図確認 ルート確保
2) リツキシマブ(リツキサン)		375 mg/m ²	
生食	500ml		生食で10倍に希釈
主管①	点滴		初回は25ml/hr→100ml/hr→200ml/hr と1時間ごとに投与速度を上げる 2回目以降は100ml/hrから開始[*1]

次ページあり

3) グラニセトロン	3mg	1 A	
生食	50ml	1 本	
	主管②	点滴	15 分
4) エンドキサン		750 mg/m ²	
生食	250ml	1 袋	
	主管③	点滴	1時間 【ケモセーフ使用】
5) ドキソルビシン(アドリアシン)		50 mg/m ²	
生食	50ml	1 本	
	主管④	点滴	全開 【ケモセーフ使用】
6) 生食	50ml	1 本	
			フラッシュ
			〈所要時間 約8時間〉

day2【ケモセーフ使用】

1) 生食	50ml	1 本	内服前投薬確認 ルート確保
2) ポライビー		1.8 mg/kg	【ケモセーフ使用】
大塚蒸留水	100ml	1 本	
生食	100ml	1 本	
			(インラインフィルター必須)
	主管①	点滴	初回90分[*2]
3) 生食	50ml	1 本	
	主管②	点滴	30分 経過観察
			〈所要時間 約3時間〉

【2～6コース目】

day1

1) カロナール	200mg	2 錠	
d-クロルフェニラミン		1 錠	
	内服		リツキシマブ投与30分前

day1～5

1) プレドニゾロン		100 mg/body	
	内服		朝昼食後

day1【ケモセーフ使用】

1) 生食	50ml	1 本	内服前投薬、心電図確認 ルート確保
2) リツキシマブ(リツキサン)		375 mg/m ²	
生食	500ml		生食で10倍に希釈
主管①	点滴		初回は25ml/hr→100ml/hr→200ml/hr と1時間ごとに投与速度を上げる 2回目以降は100ml/hrから開始[*1]
3) グラニセトロン	3mg	1 A	
生食	50ml	1 本	
主管②	点滴	15分	
4) 生食	50ml	1 本	
主管③	点滴	15分	
5) ポライビー		1.8 mg/kg	【ケモセーフ使用】
大塚蒸留水	100ml	1 本	
生食	100ml	1 本	
			(インラインフィルター必須)
主管④	点滴	30分[*2]	
6) 生食	50ml	1 本	
主管⑤	点滴	15分	
7) エンドキサン		750 mg/m ²	
生食	250ml	1 袋	
主管⑥	点滴	1時間	【ケモセーフ使用】
8) ドキソルビシン(アドリアン)		50 mg/m ²	
生食	50ml	1 本	
主管⑦	点滴	全開	【ケモセーフ使用】
9) 生食	50ml	1 本	
			フラッシュ

〈所要時間 約7時間30分〉

【7、8コース目】

day1

1) カロナール	200mg	2 錠	
d-クロルフェニラミン		1 錠	
	内服		リツキシマブ投与30分前

day1

1) 生食	50ml	1 本	内服前投薬、心電図確認 ルート確保
2) リツキシマブ(リツキサン)		375 mg/m ²	
生食	500ml		生食で10倍に希釈
主管①	点滴		初回は25ml/hr→100ml/hr→200ml/hr と1時間ごとに投与速度を上げる 2回目以降は100ml/hrから開始[*1]
3) 生食	50ml	1 本	フラッシュ

〈所要時間 約5時間〉

【文献】

国際共同第Ⅲ相試験【GO39942試験(POLARIX試験) NEJM2022;386:351-63 PMID:34904799】

【適応】

未治療のびまん性大細胞型B細胞リンパ腫

*抗ウイルス薬及び抗ニューモシスチス薬予防投与を考慮する。

*各サイクルの治療薬投与において、G-CSF製剤の予防投与を行う。(POLARIX試験)

【ポライビー】

*インラインフィルター(0.2又は0.22 μm)を使用する。

[*2]初回投与は90分かけて投与し、忍容性が良好であれば2回目以降の投与時間を30分間まで短縮できる。